

セミナー「開発援助が創り出す「貧困」？ 国際金融機関アジア開発銀行(ADB)の影」

近年のアジアは、中国やインドなどの新興国の台頭、東南アジア諸国連合（アセアン）の統合、ミャンマーの国際社会への復帰といった政治・経済面の話題で湧く一方、格差是正や気候変動への対応といったグローバルな課題が未解決のままです。アジア開発銀行（Asian Development Bank、以下 ADB）は、アジア・太平洋地域の途上国の経済開発を主な目的に 1966 年に設立された国際機関で、これまでアジアのインフラ開発に重要な役割を担ってきました。

ADB の融資に際しては、環境破壊や人権侵害を防ぐためのセーフガード政策というものがあります。しかし、アジアの市民社会からは長年、事業に伴う問題が指摘され続けています。

2015 年、ADB に匹敵する資金力を持つ中国の主導で発足したアジア・インフラ投資銀行（AIIB）が設立され、その役割に期待と不安が集まっています。AIIB は今後数年、ADB や世銀との協調融資を通して投資を拡大するとみられます。ここで ADB 事業の経験を振り返り、セーフガード政策の運営上の問題を考えることは、まだ環境・社会への対策が未整備である AIIB の融資案件や政策・運営を見ていく上でも重要です。

ADB は昨年発足 50 周年を迎え、50 回目の年次総会を日本（横浜）で開催します。この機会に、ADB の関わる事例を元にアジア地域の開発や環境・社会保全の課題、ADB をはじめとする国際機関や日本政府の役割について、海外ゲストにご報告いただきます。

日時：2017 年 5 月 2 日（火）18:00～20:40（開場 17:45）

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス内
ボアソナードタワー 26 階 A 会議室

地図：<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>

アクセス：JR 総武線市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

定員：50 名

資料代：無料

プログラム（予定）[逐次通訳付]

「国際金融機関アジア開発銀行が抱える課題」

- Rayyan Hassan/NGO Forum on ADB

「“貧困削減のためのダム”ラオス・ナムトゥン 2 がもたらした環境・社会影響」

- Bruce Shoemaker/メコン流域研究者

「ミャンマーの土地問題と国際金融機関の貧困削減支援（仮）」

- Glenn Hunt/Land Core Group

質疑応答

まとめ：松本悟/法政大学

申込み：以下からお申込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/ce34488c504483>

主催：特定非営利活動法人メコン・ウォッチ、法政大学国際文化学部

助成：大竹財団

お問合せ先：特定非営利活動法人メコン・ウォッチ

Tel: 03-3832-5034 Fax: 03-3832-5039

Email: info@mekongwatch.org



ADB になじみのない方へー 1966 年に発足。本部はフィリピンのマニラ。現在加盟メンバー 67 カ国。最大の出資国は日本とアメリカ（ともに出資率 15.7%）。歴代総裁 9 人はすべて日本人。たとえば、前 ADB 総裁は黒田東彦日銀総裁、現在の ADB 総裁は中尾武彦氏（元財務省財務官）。